

読み終わったら保護者の方にも読んでもらいましょう。



教育実習生からのアドバイス

現在、7名の本校卒業生が教育実習のため来校しています。先輩方は高校卒業時に希望進路(進学)を実現しました。そして現在、全員が大学4年生で、教員免許取得のために実習を行い、今夏の教員採用試験合格を目指して勉強しています。忙しい中ですが、後輩に向けてのメッセージをいただきましたので紹介します。

名前、本校在籍時の学科・コース、
進学先(現在籍校) 実習教科・科目

- Q1 高校生の時、夢中だった事、がんばった事は何ですか？
Q2 高校生の時の目標は？実現するために努力をしたことは何ですか？
Q3 後輩へ向けて、ひとことお願いします。

石田 宏平 先生 総合学科
国土館大学 体育学部 武道学科 体育

- Q1 勉強や部活動など、多くの事に取り組みました。特に一番頑張った事は部活動です。朝夕の稽古は苦しい時もありましたが、仲間と団結し乗り越えたことは高校生活でも一番の財産だと思います。結果として目標の日本一は達成できませんでしたが、とても良い経験をさせてもらいました。
Q2 大学進学。大学でも剣道を続け、日本一を目指したいと思っていたので、まずは部活動で成績を残す事。そして教員も希望していた為、教員免許の取れる大学という事で、勉強をしっかり行い、学力面でも進路の幅が広がるよう努力しました。
Q3 高校生活は人生で二度とない青春と呼ばれる時期です。一番大切な事はもちろん勉強ですが、部活動や普段の生活の中で一つでも思い出を残してほしいと思います。クラスの友達や部活動の仲間と、高校生でしかできないような思い出や経験を残して、悔いのないように毎日を過ごしてほしいです。

永岡 風音 先生 農業科学コース
東京農業大学 農学部 畜産学科 農業

- Q1 剣道部での活動と意見発表・作成を頑張りました。剣道ではレギュラーではなく、八番目として選手のサポートを行い、意見発表では畜産専攻班内での活動を文章してまとめました。伝える事は容易ではなかったため、朝から夕方まで何度も練習しました。
Q2 農業系大学進学。推薦をいただくために部活動と農業クラブでの活動の両立、日頃の学校生活において先生方への礼節を忘れない事など、目に見える形での努力をしていました。もちろん陰での努力も怠る事はありませんでした。
Q3 「何事も誰かに支えられることによって成り立っている」ことに気づいた人間は強くなります。

佐々木 菜奈 先生 総合学科
国土館大学 体育学部 武道学科 体育

- Q1 部活動に夢中でした。勉強と部活動の両立は難しいですが、部活動をしているからといって、授業を適当にしていという事はないので、どちらも自分なりに一生懸命取り組みました。ですが、一つ言えるのは、どんな事でも熱中してやる事により、得られる事が多いという事です。
Q2 大学進学を目標に面接練習と小論文対策をしました。面接練習は入退室の仕方や、自分自身についての分析、理解をして、面接する際に自分が何を伝えたいのかを明確にしました。小論文対策は文章構成、書き方の基本知識を身につけ、何題も過去問題に取り組みました。
Q3 進路目標は人それぞれだと思いますが、自分の興味あることや、進みたい道を決めて、それに向かって早く行動に移すことが大切だと思います。



読み終わったら保護者の方にも読んでもらいましょう。

多田 百花 先生 総合学科

昭和音楽大学 音楽学部 音楽芸術運営学科
音楽療法コース 音楽

- Q1 総合学習です。自分の視野を広げるために他の人の発表をメモをとりながら聞いたり、調べ学習を行いました。また、伝わりやすい発表方法について考え、パワーポイントを作成し、何度も練習しました。
- Q2 音楽大学への進学。資料集めやオープンキャンパスに参加することを2年生の夏から行い、比較して受験する学校を選びました。努力したことは自己PRです。入試で5分間の自己PRがあったため、農林で学んだことをもう一度振り返り、伝わりやすい話し方について考え、発表、練習を行いました。
- Q3 進路を考える際に大切な事は、「どのような自分になりたいか」という理想像を考えることだと思います。自分の中に理想像ができると、進む道や努力しなければならないことが明確になると思います。

阿部 紗奈 先生 農業科学コース

帯広畜産大学 畜産学部 畜産科学課程
家畜生産科学ユニット 農業

- Q1 農業クラブ活動に力を入れていました。各種競技大会へは可能な限り出場、参加するよう努力していました。また、校内の農業クラブの活動をより良くするために、どのような活動をしたら良いか考え、役員同士での話し合いを日々行っていました。他県、他校との交流も積極的に行っていました。
- Q2 帯広畜産大学進学でした。進路実現に向けては推薦をもらうために勉強、部活、農クワの活動の両立と、資格や検定の取得に努力しました。受験対策としては早期から小論文練習を行い、できるだけ多くの先生に面接練習をお願いしました。
- Q3 進路実現までは長く、つらいこともあるかもしれませんが、でも自分が行ってきた努力は必ず結果につながります。友人と助け合いながら、そして先生方のサポートを受けながら、進路実現に向けて頑張ってください！

佐藤 隆史 先生 総合学科

東京農業大学 地域環境科学部 生産環境工学科 農業土木

- Q1 部活動です。高校入学の一番の理由は伝統ある相撲部で相撲がしたいと考えていました。入学後は部活動を頑張りました。しかし、部活動だけに専念するのではなく、勉強をおろそかにせず、文武両道を目指して頑張りました。
- Q2 進学後も相撲を頑張りたいと思っていました。スポーツ特待生に選ばれるために部活動で実績を残すことでした。個人面接と小論文の練習も頑張りました。
- Q3 自分の好きなことが相撲であり、相撲を頑張った結果として大学に入学することができました。皆さんがもし好きな事を本気でやりたいと思っていたら、道を開くことも可能だと思います。しかし好きな事だけをやっていては自分の可能性を狭めてしまうので、好きな事も嫌いな事も本気でやってください。

松原 史敏 先生 農業土木コース

東京農業大学 国際食料情報学部 国際農業開発学科
熱帯園芸学コース 農業土木

- Q1 中学より続けていた部活動(相撲)です。熱意を持って取り組めばやりがいが出てくるので、いくらつらい稽古でも辞めたいとは思いませんでした。皆さんも何か夢中になれるものを探してください。この経験はかけがいのない財産になると思います。
- Q2 大学進学。進学後も相撲を続けたいと考えており、スポーツ推薦で入学したいと考えていました。全国大会で好成績を出せるよう努力し、小論文や面接の練習も頑張りました。
- Q3 高校生活はこれから先の長い人生の中で一度しかありません。ただボオーツと過ごすのはもったいないです。勉強でも、部活でも、遊びでも何事も全力で取り組んでください。そして思いっきり楽しんでください！

ほとんどの先輩方が、学習のみならず、部活動や農業クラブ活動等にも積極的に取り組んでいました。本校からの上級学校進学者の受験形態は推薦入試かAO入試がほとんどです。この点は見習うべき点ではないでしょうか。また、進学先の学校の研究も大切なポイントです。オープンキャンパスへの参加や先輩、先生方からのアドバイスも生かしたいものです。

面接練習や小論文の添削指導を積極的に受けること。資格を取得すること。自己PRができるように意見発表会や総合学習での発表などの機会もプラスの経験になっているようです。

先輩方も、高校時代は自分の夢実現のために目標を立て、努力をしていました。今現在は、「就職」に向けてさらなる努力をしている最中です。先輩方を応援すると同時に、自分の夢実現のために頑張らしましょう。

「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし」